

別紙

印

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	補助金事業の名称	補助金事業者名又は間接補助金事業者名	補助金事業に要した経費	補助金充当額	備考
1	公共用施設整備措置	朝熊山麓公園ソフトボール場フェンス改修工事	伊勢市	16,848,000	4,383,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名		
1	公共用施設整備措置	朝熊山麓公園ソフトボール場フェンス改修工事		
補助金事業者名又は間接補助金事業者名		伊勢市		
補助金事業実施場所	伊勢市朝熊町地内			
補助金事業の概要	グラウンドコート柵工 L=232.85m			
総事業費	16,848,000	補助金充当額	4,383,000	
		うち文部科学省分	—	
		うち経済産業省分	4,383,000	
補助金事業の成果及び評価	朝熊山麓公園ソフトボール場については、フェンス高が低いことから、ファールボールの施設外への飛球が懸念されていたが、本改修により周辺の公園利用者の安全確保を図ることができた。また、軟式野球の利用促進にも繋がり、小学生の硬式野球も利用可能となったことから、市民及び青少年のより一層のスポーツ推進が期待される。			
補助金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事請負	一般競争入札	中南勢清掃 有限会社	16,848,000

成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無	
なし	
本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方	
なし	
補助金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 補助金事業の成果及び評価の欄には、当該事業の説明及び補助申請時における目標（進捗度、利用量並びに効果）に対する結果を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
- (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
- (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。